

「人権に関わる資料館・博物館」等の紹介

関西地域にはさまざまな人権に関わる資料館や博物館があります。市では、毎年、人権学習・啓発の一環として、バスをチャーターし、主に市内の小学校区人権啓発推進委員会に加入されている市民の皆さん(各地域の委員会への加入は任意にできます)を対象に「現地人権学習会」を企画・実施しています。今までの施設見学やフィールドワーク先は、岡山の「国立療養所長島愛生園」、奈良の水平社博物館、京都の立命館大学平和ミュージアム、大阪人権博物館(※2020年閉館)などがあります。

2024年度においては、あらたな学習・見学先として、京都の「ウトロ平和祈念館」(2022年4月開館)とウトロ地区のフィールドワークを実施しました。(計69名が参加)

本年度はあらたに「神戸在日コリアンくらしとことばのミュージアム」などを計画しています。

『ウトロ地区・ウトロ平和祈念館』とは……

京都府宇治市伊勢田町ウトロ51番地。この地区は、1940年から日本政府が推進した「京都飛行場建設」のために集められた在日朝鮮人労働者たちの飯場跡に形成された集落です。ウトロ地区は、その歴史のなかで、数々の困難を乗り越えてきました。

ウトロ平和祈念館は、ウトロを守りぬいた人々の姿を通じて、人権と平和の大切さ、共に生きることの意味を伝える場、開かれたコミュニティの場、そして日本と朝鮮半島の未来を担う人たちが出会い、交流が深まる場を目指して活動しています。



※祈念館のホームページはこちら



『国立療養所長島愛生園・長島愛生園歴史館』とは……

1930年(昭和5年)に日本初の国立療養所として岡山県瀬戸内市に誕生。当時ハンセン病は感染症ということではわかっていましたが有効な治療法がなかったため、国の政策として療養所への隔離が行われました。1945年頃特效薬ができ、やがて完全に治癒させることができるようになりましたが、隔離政策は1996年の「らい予防法」廃止まで続きました。ハンセン病という病気は治っているにもかかわらず、入所者はすでに高齢化や差別の現実などで社会復帰が困難な状況で、ほとんどが愛生園を「終の棲家(ついのすみか)」として生活されています。長島愛生園歴史館では、偏見・差別のない社会をつくりあげていくために、ハンセン病の歴史から学ぶことができます。



『水平社博物館』とは……

奈良県御所市柏原=水平社発祥の地に、1986年に人権情報発信基地としての役割を担い、あらゆる差別撤廃に向けた情報を発信する施設として建設されました。

この地での部落差別への闘いの歴史や水平社創立者をはじめとした多くの人たちの歴史的資料が展示されています。1922年の「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と高らかに人間の尊厳と平等をうたい上げた日本で最初の人権宣言といわれる「水平社宣言」の精神や思想にふれることができる施設です。



川西市は、「人権行政推進プラン」及び「多文化共生推進指針」にもとづき、多文化共生のまちづくりをすすめています。

がいくせきしんみんむ そうだん ばしよ お 外国籍市民に向けた相談する場所を置きました

川西市では「多文化共生推進指針」の具体化の一つとして、6月から人権推進多文化共生課に翻訳機を置いて、日本語での会話が難しい市民向けの相談できるところをつくりました。

相談できる日は、市役所が開いている日の9時から17時までです。詳しい内容はこちら➡



しょうちゅうがくせい むりよう にほんご まな ばしよ 小中学生が無料で日本語を学べる場所がありますか？

○川西市総合センター

『けんけんひろば 日本語ひろば』

火よう日・木よう日

① 16:30～17:30 ② 18:00～19:30



このほかに、おとな向けの教室もあります。くわしく知りたいときは、人権推進多文化共生課まで でんわ: 072-740-1150

戦後・被爆80年「折り鶴平和大使」派遣事業の概報

令和7年8月8日～9日、市民公募で選ばれた、川西南中学校1年生の中井紗映さんと牧の台小学校6年生の草島采和さんが長崎の平和祈念式典に市民代表として参列するとともに、折り鶴を奉納してきました。

※折り鶴平和大使の詳細は12月号で報告します。



市民から寄せられた多くの折り鶴(約14千羽)



平和公園(平和祈念像前)での2人

川西市人権擁護委員が表彰されました。

人権擁護と人権思想の普及・高揚に貢献され、全国人権擁護委員連合会長等より表彰されました。

西垣 通豊さん 佐師 孝敬さん
前田 玲子さん 西 佳子さん